



RUCK®
FÜR FUSS UND PFLEGE



PODOLOGECO



PODOLOGONE



取扱説明書 | 2014年6月改訂 | 印刷

| 製品番号 8013322



PODOLOGECO /// PODOLOGONE



PODOLOGECO

230 V 仕様 商
品番号 11011

115 V 仕様 商
品番号 11021



PODOLOGONE

230 V 仕様 商
品番号 11012

115 V 仕様 商
品番号 11022

当取扱説明書はフットケア器具 PODOLOG ECO（製品番号 11011）および PODOLOG ONE（製品番号 11012） - 当説明書では以下で PODOLOG ECO / ONE と略 - 両方に適用されます。

QUALITÄT
SEIT ÜBER
85
JAHREN
JAHREN

2 Jahre ✓
Gewährleistung


Gefertigt in Deutschland.

お客様各位

PODOLOG ECO または PODOLOG ONE をお買い上げいただき、ありがとうございます。RUCK 社製の当製品は、診療室でも外出先でも、常に日常のお仕事を最適にサポートいたします。

当製品には、2年間保証をいたします。お客様にできるだけ長くこの器具をお使いいただくためです。

当製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みください。当取扱説明書は当製品の一部であり、常に器具のすぐそばに保管してください。

お客様の責任あるお仕事における成功をお祈り申し上げます。

HELLMUT RUCK GmbH

目次

1. 器具の各部分名称	7
1.1 使用している記号・シンボル説明.....	9
1.1.1 器具および運搬用包装における記号・シンボル	9
1.1.2 取扱説明書	9
1.1.3 ディスプレイ警告事項	10
1.2 納品範囲.....	10
1.3 梱包.....	11
1.4 リサイクリング.....	11
2. 目的に適った使用	12
2.1 使用者の要求事項.....	12
2.2 操作員とお客様の保護.....	12
3. リスクと副作用	13
3.1 お客様に対する危険の可能性.....	13
3.1.1 アレルギーの危険	14
3.1.2 破片によるお客様の怪我	14
3.1.3 熱、エネルギーや物質の放出によるお客様の怪我、皮膚/爪での摩擦熱	14
3.1.4 治療領域の毛髪による怪我	15
3.1.5 誤って侵襲した場合のお客様の怪我	15
3.1.6 常に目視検査を怠らないことで誤った侵襲行為を最低限に抑えてください。	15
3.2 治療者にとっての危険性.....	16
3.2.1 アレルギーの危険性	16
3.2.2 破片による治療者の怪我	16

3.2.3 毛髪、アクセサリ、服の一部などが回転する工具に挟まることでの怪我	16
--	----

4. 運転開始 17

4.1 技術上の安全 17

5. 操作 20

5.1 操作の準備 22

5.1.1 回転工具の使用 23

5.1.2 PODOLOG ECO / ONE のスイッチ・オン 24

5.1.3 ハンドピースのスイッチ・オン 26

5.1.4 ハンドピースのスイッチ・オフ 26

5.1.5 PODOLOG ECO / ONE スイッチ・オフ 27

5.2 設定 27

5.2.1 ハンドピースモーターの回転数 27

5.2.2 回転方向 右/左回り 28

5.2.3 回転方向の変更 28

5.2.4 吸引力の選択 29

5.2.5 設定の保存 29

5.3 工具の取替 31

5.4 人間工学に基づいて設計されたハンドピースの握り部分 31

5.4.1 ペン軸の持ち方 31

5.4.2 ハンドピース先端での持ち方 31

5.5 情報メニュー 32

5.5.1 フィルタの交換 32

5.5.2 次のメンテナンス予定日の表示 33

5.5.3 メンテナンス催促機能のアクティブ化 33

6. メンテナンスと清掃 34

6.1 メンテナンス 34

PODOLOGECO /// PODOLOGONE

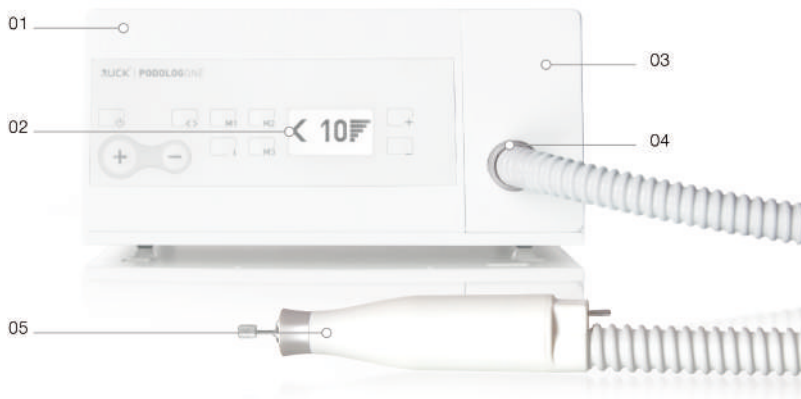
6.2	フィルタの交換	36
6.2.1	フィルタの交換方法	36
6.2.2	新しいフィルタはどこで購入できるでしょうか？	38
6.3	モーターユニットの清掃	38
6.3.1	モーターユニットの簡単な清掃	39
6.4	制御装置の清掃と消毒	41
7.	付属品とスペアパーツ	42
7.1	工具	42
7.2	フィルタ	42
7.3	フットスイッチ	42
8.	テクニカル・データ	43
8.1	環境条件	44
9.	保証	45
10.	廃棄処分	46

1. 器具の各部分名称

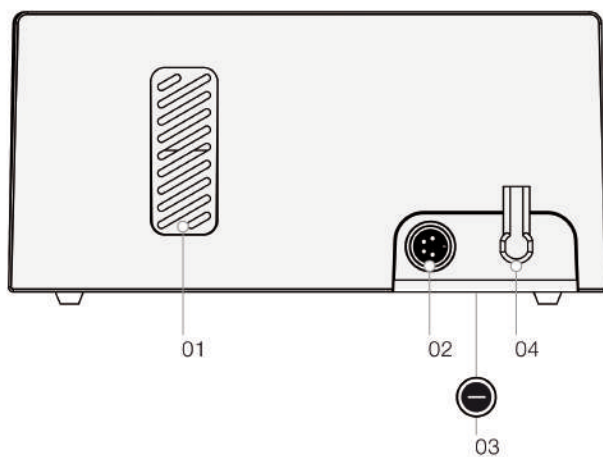
PODOLOGECO



PODOLOGONE



- 01 制御装置
- 02 ディスプレイ
- 03 フィルタの入る引き出し
- 04 ホース接続部分
- 05 ハンドピース



- 01 エアスリット
- 02 フットスイッチ接続部
- 03 器具底部の器具ヒューズ
- 04 電源ケーブル



電源ケーブルが破損している場合には、器具を電源から切離し、そのケーブルはもう使用しないでください。



破損している電源ケーブルは、権限のある専門員によってのみ、交換してもらってください。

1.1 使用している記号・シンボル説明

1.1.1 器具および運搬用包装における記号・シンボル



保護等級 II の器具

IP42

第1記号	人体からの接触に対する保護	固形異物の侵入に対する保護	第2番号	水の浸入に対する保護
0	無保護		0	無保護
4	1 mm 以上の太さの工具、ワイヤなどに対して	直径1 mm以上の固形異物	2	落下水滴（傾斜角15度まで）



水分および湿気から保護してください

1.1.2 取扱説明書

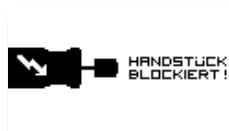


注意！この記号は人身または器具に対する危険を示すものです。必ず注意してください。



この記号は、大切な注意事項があることを示しています。この記号のある場所には、PODOLOG ECO / ONE 取扱説明書の追加情報があります。

1.1.3 ディスプレイ警告事項



「ハンドピース・ブロック」 - ハンドピースがブロックされると、約 5 秒後にモーター回転数と吸引タービンがスイッチオフされます。約10秒後にこのディスプレイ表示が消え、ハンドピースの回転数をまた新設定することが可能になります。



「吸引部過熱」 - 吸引タービンケース内の空気温度が過熱すると、吸引タービンおよびハンドピースのスイッチが切れます。温度が約 10～15 度下がると、このディスプレイ表示が消え、ハンドピースの回転数をまた新設定することが可能になります。

1.2 納品範囲

PODOLOG ECO / ONEを初めてお使いになる前に、当取扱説明書を注意深くお読みください。納品されたものが完全であることを確認してください。

納品の対象範囲は、以下の通りです：

PODOLOG ECO / ONE 制御装置
ホースと引き出し付きハンドピース
フィルタバッグ 1ヶ
取扱説明書 1冊
器具証明書 1通
清掃用ツール 1ヶ

ハンドピースカバー 1ヶ

1.3 梱包

梱包は、器具が運搬時に損傷するのを防ぎます。梱包資材は環境に優しく、処分しやすいことを基準に選択されており、リサイクル可能です。

梱包資材（ボール箱、ポリ袋、発泡スチロール部分）は、メンテナンス作業時に返せるよう、保管しておいてください。

1.4 リサイクリング

古くなった器具は電子廃品として処分し、家庭のゴミと一緒にしないでください。フィルタバッグは満杯になったら、一般ゴミに捨ててください。

お住まいの地域で適用されている廃棄規制に従ってください。



ここでは国ごとに異なる基準に注意してください。.

2. 目的に適った使用

フットケア器具PODOLOG ECO および PODOLOG ONEは、角質削り器や研磨機といった回転する工具を動かし、手足の角質層、たこ、爪などを取り除きます。当器具は、以下の仕事を行うために作られています：フットケア、ネイルデザイン、美容コスメ、ウェルネスまたは同等の職業グループ

上記以外での使用は使用者本人のリスクで行うものであり、危険となる場合があります。使用目的に適わない使用は人身傷害または物質的損害を招くことがあります。

使用目的に適わない使用方法または間違った操作法により招かれた障害または損害に関して、製造者はなんら責任を負いかねます。

使用目的に適わない使用法をした場合、または器具の中を開けた場合には、保証請求権は無効となります。



器具およびその付属品に変更、修正を行うことは、禁じられています。修理をした場合には、必要となる安全チェックを繰り返してください。

2.1 使用者の要求事項

当フットケア器具は、相当の作業に熟知し、相当の職業訓練を受けているポドロジスト、フットケアセラピスト、美容師、ネイルデザイナーまたは同等の職業関係者しか使用しないでください。

2.2 操作員とお客様の保護

- DIN EN ISO 1797-1に準じた、直径 2.35 mm \pm の規格シリンダ軸、タイプ2の高性能の回転工具だけを使用してください。
- 回転工具メーカーによる取扱説明書および最高回転数、そして同じくメーカーによる清掃、消毒、殺菌に関する指示内容を必ず守ってく

ださい。追加情報は、HELLMUT RUCK GmbHの最新メインカタログにある「回転器具」の項でもご覧いただけます。

- 操作員は、フットスイッチの接続部分と患者とに決して同時に触れないでください。
- 安全超低電圧は必ず守ってください。
- 操作員は、使用中は保護メガネをつけ、口と鼻を保護するためのマスク、および手袋を着用してください。
- 操作員は、治療中、髪の毛、または布、綿類などの固定されていない物体が回転する工具のそばにないことを確認してください。
- 毎回使用後、またはお客様が替わるたびに、工具は消毒し、清掃し、場合によっては殺菌することが必要です。これにより病原体が次の患者に感染することがないようにします。

それに適した薬剤は、弊社のカatalog「衛生」の項でご覧いただけます。

- 汚染している可能性のあるハンドピースや器具の表面は必ず消毒し、清掃してください。ハンドピースにはどんな場合にも、決して水・液体が入り込まないようにしてください。液体が入り込むと、器具を損傷することがあります。

3. リスクと副作用

PODOLOG ECO / ONE を使用目的に適った、適切で専門家による使用方法でお使いになれば、人体に及ぶ危険はわずかに限られます。

3.1 お客様に対する危険の可能性

病原体を含む可能性のある埃を吸い取ることで、病原体（微生物）感染の危険性は極めて少なくなります。

吸入によるお客様の危険は最小限に抑えられ、免疫不全のお客様の治療が管理しやすくなります。治療に当たる者はそれでも、作業中は必ず口と鼻をカバーするマスクをし、保護手袋を使用してください。



病原体と接触する作業を行う場合には、その次の作業に取り掛かる前に、病原体に汚染されていない皮膚や爪の部分は、必ず工具を消毒/殺菌してから、作業を開始してください。

3.1.1 アレルギーの危険

医療用鋼鉄部分にアレルギー反応を起こすお客様に関しては、ほんのわずかな確率ながら、アレルギー反応が起こることがあります。

PODOLOG ECO / ONE を使用しての治療は通常短く、アレルゲンとなり得るものとの接触時間も30分以内です。

従って、過剰反応を起こしやすいT細胞が、純粋な皮膚接触を通じてアレルギー反応を起こすクームス分類によるIV型アレルギー（旧称接触アレルギー）は、通常は起こりません。

使用目的に適った使用法では、PODOLOG ECO / ONE による侵襲治療は行いません。吸引することで、傷周りで飛び散る埃を吸入する危険（薬物を含んだ削り取った鱗屑（りんせつ））が減少します。クームス分類によるI型アレルギー（旧称：即時型過敏）はまず起きないはずですが、理論的には起こる可能性があります。

3.1.2 破片によるお客様の怪我

爪の破片が取れる際に、たとえばダイヤモンドフライスなどの角質削り器の粘着粒子や部分が作業中に飛び散ることがあります。作業領域のそばにお客様に開いたままの、手当てをしていない傷がある場合には、必ずその傷をカバーしてください。



治療者は、この作業をする場合には必ず保護メガネを使用してください。 3.2 治療者にとっての危険性を参照のこと。

3.1.3 熱、エネルギーや物質の放出によるお客様の怪我、皮膚/爪での摩擦熱

皮膚をこすることにより生じる熱は、回転数を高くして面積の広い角質削り器/工具で作業する場合に問題となります。

このような場合には、作業面、接触面はなるべく大きい方がいいといえます。同じ箇所を深く作業することは避け、皮膚のなるべく広い面

で作業するようにしてください。熱しすぎることはないよう、皮膚と爪との接触を時折中断してください。

3.1.4 治療領域の毛髪による怪我

足の指や足の甲（慢性の圧覚点でできた鶏眼/魚の目除去）などの治療領域に長く太い毛髪があることがあります。これはことに、男性のお客様に多く見られます。

毛髪が工具に絡み、痛みを伴って引きちぎられることがないように、予防の目的でこれらの毛髪は前もって剃ってください。

3.1.5 誤って侵襲した場合のお客様の怪我

回転する工具を使つての作業では常に、侵襲してしまう可能性があります。

これにより組織の不均一性、皮膚の角層密度の変化が起こることがあり、またお客様が急に動き、治療者の注意がそらされてしまうことがあります。

3.1.6 常に目視検査を怠らないことで誤った侵襲行為を最低限に抑えてください。

細かい作業では、常に目視検査を怠らず、危険の多い（例えばフェンプロクモン投与の行われている）お客様の場合には、必ずライト付きルーペを使いながら作業を行ってください。



侵襲はどんなことがあっても避けてください！

PODOLOG ECO / ONE の効率よい吸引機能が、よりよい視界を保証します。これにより、深い傷を与える危険性が少なくなります。

3.2 治療者にとっての危険性

病原体を含む可能性のある埃を吸い取ることで、病原体（微生物）感染の危険性は極めて少なくなります。

吸入により治療者が感染する危険は、最低限に抑えられています。



顔/口を保護するためのマスクと手袋を着用することを、衛生面からも推奨します。

3.2.1 アレルギーの危険性

ハンドピースまたは角質削り器/工具表面で接触アレルギーを起こす可能性のある場合には、治療者が手袋を着用するとよいでしょう。これは衛生上の理由からも、ほとんどの治療においてお奨めします。

3.2.2 破片による治療者の怪我

爪の破片が取れる際に、たとえばダイヤモンドフライスなどの角質削り器の粘着粒子や部分が作業中に激しく飛び散ることがあります。

これは治療者の目（目による接触）や顔のすぐそばで起こるため、怪我をする危険があります。



治療者は、この作業をする場合には必ず保護メガネを使用してください。



サイド付きの保護メガネは保護者の目を怪我や感染から守ります。保護メガネは、治療後毎回、消毒してください。

3.2.3 毛髪、アクセサリ、服の一部などが回転する工具に挟まることでの怪我

作業場の安全性の理由から、治療者は、必ず長い髪は束ねるか、キャップでカバーしてください・

手にアクセサリーや腕時計をすることは、衛生上の理由から避けてください。作業衣には、工具に布地の房や、布、またはその他の部分が挟まらないようなものを選んでください。

4. 運転開始

4.1 技術上の安全

- 器具を初めてお使いになる前に、電流タイプと電圧が器具の銘板に記されている表示と合致しているか、確認してください。
- 制御装置を平らで、安定した場所に置いてください。
- 器具を設置する際、器具の通気口をふさがないようにしてください。
- 電気ケーブルを潰したり、折ったり、または鋭い角などでこすったりして破損することがないようにしてください。
- 水分・液体を決して吸引しないでください。
- 器具に水分、液体が決して入り込むことがないように、保護してください。器具に水分が入り込むと、感電する危険があります！
- 清掃/メンテナンスの前には必ず器具のスイッチを切り、コンセントを抜いてください。
- 器具を決して水やその他の液体に浸けないでください。
- 器具に破損や機能障害が生じた場合には、プラグを直ちに抜いてください。
- 修理は、権限のある専門員しか行うことはできません。
- 器具を開いた場合には、保証請求権は無効となります！
- 使用される工具の安全機能が保証されるためには、工具がDIN EN ISO 1797-1 に準じていることが必要です。操作員とお客様の保護の2.2章、12ページを参照してください。.
- PODOLOG ECO / ONE は他の器具のすぐそば、または他の器具と一緒に並べて使用しないでください。必要であれば、PODOLOG ECO / ONE の使用目的に適った操作法をチェックしてください。



記載付属品以外のものを使用することにより、エミッションが増加またはイミュニティが減少することがあります



ハンドピースのホースおよびケーブルで首を絞める危険器具にお子様を近づけないようにしてください。



角質削り器などの必要付属品（小部品）は、誤って飲み込んでしまう危険があります。器具にお子様を近づけないようにしてください。



器具を使用前後に運搬する場合には、器具用に用意されている包装を使い、機械的損傷や湿気から器具を保護してください。

家庭内でご使用になる場合には、電源用ケーブルがたとえばペットなどにより損傷を受け、危険が生じることがあります。



電源用ケーブルは定期的に損傷がないかチェックし、もし損傷が見つかった場合には、器具のプラグを抜いてください。



家庭内でご使用になる場合には、お子様が器具で遊ぶなどして危険が生じることがあります。器具にお子様を近づけないようにしてください。



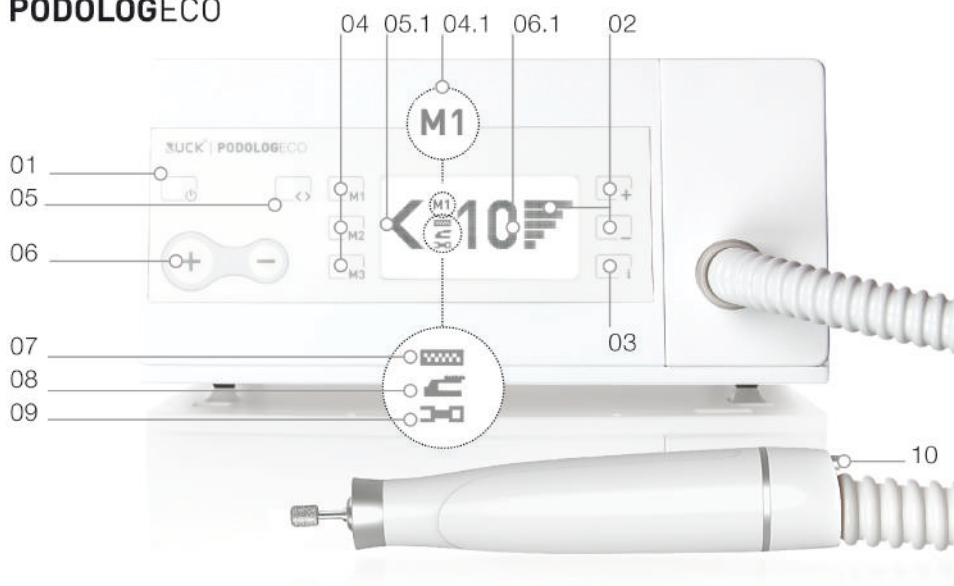
器具を定期的にチェックし、必要であれば清掃して、害虫などによる被害がないように保護してください。

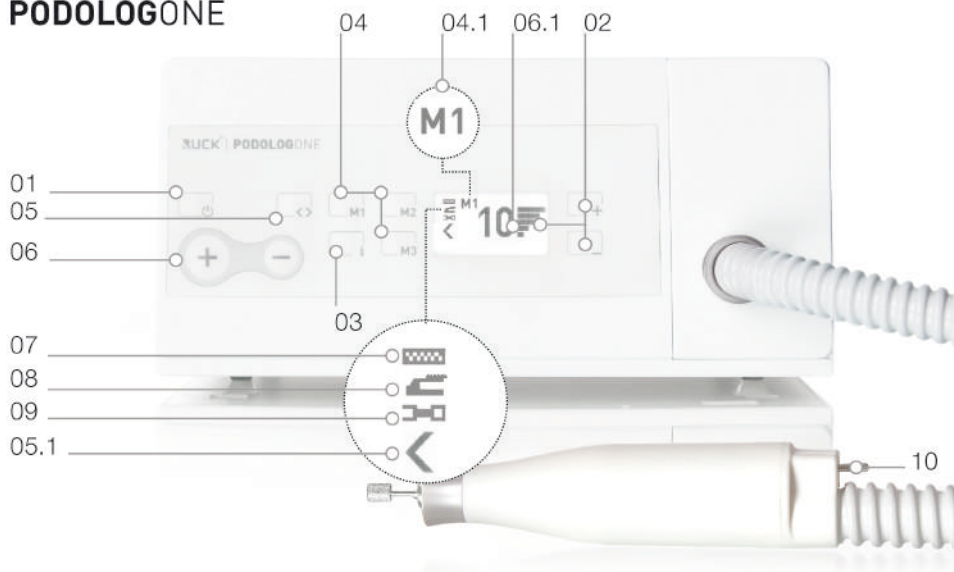


当器具の操作と運搬のための指示事項は必ず守ってください。



プラグは、供給電力との接続から切断する際に、いつでもすぐ届くようにしておいてください。プラグは、供給電力との接続を切断するためにあります。





01	スタンバイ・ボタン	スタンバイ・モードをアクティブ化/非アクティブ化します。
02	吸引力設定	[+] 吸引力を上げるまたは [-] 下げる。出力はディスプレイに表示されます。
03	情報メニュー [i]	このメニューで、たとえばハンドピースの清掃をアクティブ化したり、次のフィルタ交換やメンテナンスがいつか、調べることができます。5秒間押し続け、基本設定（言語等）を変更します。
04	設定用 保存ボタン	回転数/回転方向/吸引力の3つのコンビネーションで設定保存ができます。メモリはディスプレイで表示されます（04.1）。[M1] [M2] はフィルタ交換時に必要となります。
05	右/左回り	工具の右/左回りを設定します。
06	スピードガバナ	これを使って回転数が1000ステップで設定できます。現在の回転数をディスプレイで表示します（06.1）。調節ダイヤルを取り外すと、ボタンはすべてブロックされます。
07	フィルタ交換	フィルタ交換催促シンボルが表示されます。
08	フットスイッチ	オプションのフットスイッチが差し込まれると、このシンボルが表示されます。
09	メンテナンスサービス表示	メンテナンス催促シンボルが表示されます。
10	オン/オフスイッチ	このスイッチで器具の操作のためのスイッチを入/切します。

5.1 操作の準備

- ホースの接続部分を引いて、フィルタの入っている引き出しを開きます。
- 添付のフィルタが入っているか、確認します*。そうでない場合には、スリーブの上にフィルタを置いてください。詳しくは、35ページを参照してください。
- = 引き出しを押して、閉じます。
- = スタンバイ・ボタンで器具のスイッチを入れます。



= スタンバイ・スイッチ オン/オフ



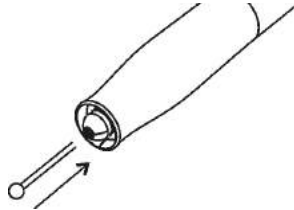
決してフィルタなしでは作業しないでください。



フィルタの引き出しは操作の際には、必ず閉じたままにしておいてください。PODOLOG ECO / ONE は引き出しを開けると、自動的にスイッチが切れます。

5.1.1 回転工具の使用

作業に必要な回転工具（研磨機/角質削り器）をハンドピースの開口部に差し込みます。



工具はただ
差し込むだけです
（クイックリリースチャック）。



工具のシャフトが完全に入り込んでいることが大切です。



工具のシャフトが曲がらないように気をつけてください。工具のシャフトが曲がるとアンバランスになり、ハンドピースを破損したり、ツールの支えに悪影響を与えてしまうことがあります。

PODOLOGECO /// PODOLOGONE

5.1.2 PODOLOG ECO / ONE のスイッチ・オン



スタンバイ・ボタンを軽く押します。これで PODOLOG ECO / ONE のスイッチが入り、操作可能になりました。

スイッチを初めて入れる際に、PODOLOG ECO / ONE の言語と作業範囲が設定されます。さらに、次のメンテナンス時期を教えてくれる、メンテナンス催促機能をアクティブ化することができます。それには6章の「メンテナンスと清掃」も比較してお読みください。ステップごとにスタートメニュー項目が出されます。最後に [M1] ボタンで入力内容を確認してください。

PODOLOG ECO / ONE を初めて使用する際のディスプレイ表示：



PODOLOG をお買い上げいただき、ありがとうございます。



言語選択

[M] ドイツ語

[M2] 英語

[M3] スペイン語

[<>] ロシア語

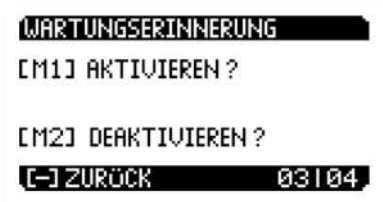


私の作業範囲は：

[M1] フットケア

[M2] ネイルデザイン

[-] 戻る



メンテナンス催促
 [M1] アクティブ化
 [M2] 非アクティブ化

[-] 戻る



ありがとうございます

[-] 戻る [M1] 終了



スタートメニューの設定を今後変更したい場合には、[i] ボタンを5秒間押し続けてください。

PODOLOGECO /// PODOLOGONE

5.1.3 ハンドピースのスイッチ・オン

ご希望の工具回転数を、調節ダイヤルを回転して、設定してください。表示数の1000倍が回転数（rpm）です。ハンドピースを手に取り、ハンドピースの端にあるスイッチを入れてください。

PODOLOGECO



PODOLOGONE



モーターが設定されている回転数で動き出しますので、作業を開始してください。



設定回転数は、工具の最大許容回転数を超えてはなりません。

5.1.4 ハンドピースのスイッチ・オフ

モーターが動いたままの状態ハンドピースの端にあるスイッチを押してください。

モーターが切れ、作業を中断できます。

5.1.5 PODOLOG ECO / ONE スイッチ・オフ



スタンバイ・ボタンを軽く押します。PODOLOG ECO / ONE のスイッチが切れ、スタンバイ・モードになります。



プラグは、供給電力との接続から切断する際に、いつでもすぐ届くようにしておいてください。プラグは、供給電力との接続を切断するためにあります。

5.2 設定

5.2.1 ハンドピースモーターの回転数

工具に合った回転数は、調整ダイヤルで設定します。

時計方向に回 転	- 回転数が上昇	最大回転数 25,000 rpm
時計と反対方 向に回転	- 回転数が下降	最小回転数 4,000 rpm

寸法の大きい角質削り器の最適回転数は、8,000～12,000rpmです。



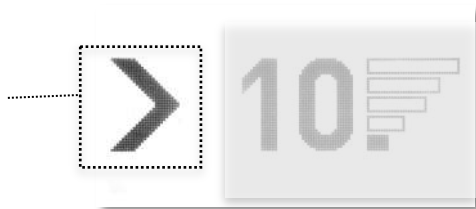
設定回転数は、工具の最大許容回転数を超えてはなりません。

HELLMUT RUCK GmbH のメインカタログ「回転する工具」の章に、全角質削り器と研磨機の最大許容回転数が書いてあります。

5.2.2 回転方向 右/左回り

どの工具を使うか、または右利き/左利きの場合などに、工具の回転方向を右または左回りにすることができます。

右回り



矢印が回転方向を示します。



矢印が右を指しています - 右回り



矢印が左を指しています - 左回り

5.2.3 回転方向の変更



回転方向は、操作中に変更できます。

矢印ボタンを軽く押します。設定されているモーター回転数が自動的にゼロにリセットし、回転方向が変わります。モーターは再び、設定されている回転数で動きます。

5.2.4 吸引力の選択



吸引力は、それぞれの状況にあわせて、調整できます。

[-] ボタンを押すたびに、吸引力が弱まります。[+] ボタンを押すたびに、吸引力が強まります。
それぞれ、ボタンを押したまま吸引力を希望の強さに調整してください。

吸引には5つのレベルがあります。



5.2.5 設定の保存



作業が楽になるよう、回転数、回転方向、吸引力などの異なった設定を保存することができます。[M1]、[M2]、[M3]のボタンでお望みの設定を保存し、呼び出すことができます。

調整ダイヤルで希望の回転数を設定します。右または左回りを選択します。吸引力を選択します。それぞれ相当する[M1]、[M2]または[M3]のボタンを約2秒押し続けます。

ディスプレイに「保存終了」が表示されます。



GESPEICHERT

保存終了

[M1]、[M2]または[M3]のボタンを軽く押すと、ボタンの下に保存されている設定を呼び出すことができます。



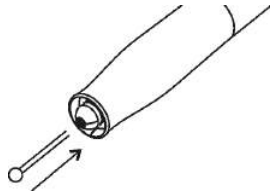
設定は、操作中にいつでも変更可能です。



設定回転数は、工具の最大許容回転数を超えてはなりません。

5.3 工具の取替

- ハンドピースのモーターのスイッチを切ります。
- ハンドピースから工具を取り外します。
- 別の工具をハンドピースの開口部に差し込みます。



工具は、ハンドピースのスイッチを切った状態のときにしか、取り替えることはできません。

工具のシャフトが完全に入り込んでいることが大切です。

5.4 人間工学に基づいて設計されたハンドピースの握り部分

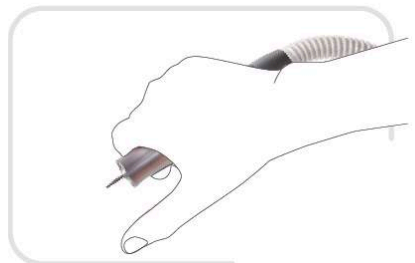
5.4.1 ペン軸の持ち方

ペンを持つと同じ持ち方で握ると、人間工学に基づき精巧な作業が実行できます。



5.4.2 ハンドピース先端での持ち方

平らな表面での作業には、ハンドピースを先端で握り、親指で支えながら動



かすと、正確で楽な作業が実行できます。

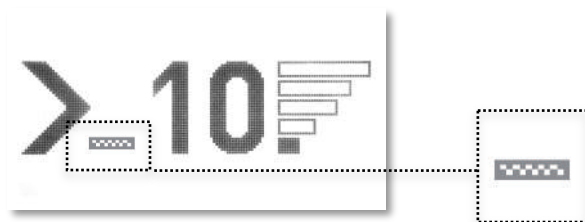
5.5 情報メニュー



情報メニューを使って、以下の情報や機能呼び出すことができます。
[+] と [-] のボタンを押しながら、メニュー項目を出していただく。

5.5.1 フィルタの交換

フィルタを交換したい場合には、情報メニューを通じて行い、同時にフィルタを交換したことを器具に教えることができます。詳しい説明は、35ページの6.2.1の項にある「フィルタの交換」をお読みください。



FILTERWECHSEL
BITTE WECHSELN

[M1] JETZT [M2] SPÄTER

フィルタ交換
交換してください

[M1]今 [M2]あとで

FILTER
WURDE NEUER FILTER
EINGESETZT ?

[M1] JA [M2] ABBRECHEN

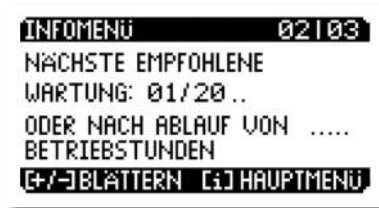
フィルタ
新しいフィルタを挿入しましたか？

[M1]はい [M2]キャンセル

5.5.2 次のメンテナンス予定日の表示

この実用的な表示を使って、お手元の PODOLOG ECO / ONE の次のメンテナンスがいつか、知ることができます。

器具タイプ	PODLOG ECO	PODOLOG ONE
以下の期間/ 時間終了後 要メンテナ ンス：	2年後または900稼働時間 終了後	1年後または500稼働時間 終了後



情報メニュー

次回の推奨メンテナンス予定日 01. 20..
または稼働 ... 時間を過ぎたら

[+/-] ページをめくる [i] メインメニュー

5.5.3 メンテナンス催促機能のアクティブ化

メンテナンスサービス催促機能をアクティブ化すると、PODOLOG ECO / ONE が次のメンテナンス予定日を知らせます。この機能は情報メニューでアクティブ化または非アクティブ化することができます。PODOLOG ECO では900稼働時間終了後、PODOLOG ONE では 500稼働時間終了後にメンテナンスシンボルがディスプレイに表示されます。



情報メニュー

メンテナンス催促機能のアクティブ化
[M1] を押して下さい

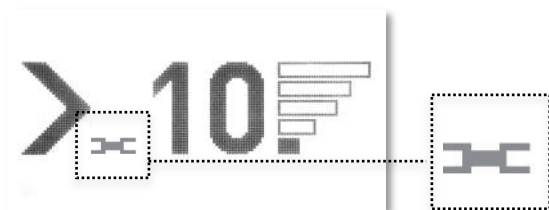
[+/-] ページをめくる [i] メインメニュー

INFOMENÜ 03103
 ERINNERUNG AN WARTUNG
 DEAKTIVIEREN?
 DRÜCKEN SIE BITTE [M1]
 [+/-] BLATTEN [i] HAUPTMENÜ

情報メニュー

メンテナンス催促機能の非アクティブ化
 [M1]を押して下さい

[+/-] ページをめくる [i] メインメニュー



6. メンテナンスと清掃

6.1 メンテナンス

PODOLOG ECO / ONE はほとんどメンテナンスフリーです。重要なメンテナンスは、早めにフィルタを交換することです。フィルタをまめに交換することで、支障のない吸引が保証されます。



器具は使用後毎回外側を清掃し、必要に応じて消毒し、ハンドピースは最低一日に1度は内側の埃を取り除いてください。

それに適した薬剤は、弊社のカatalogの「清掃と消毒」の項でご覧いただけます。モーターユニットの清掃と消毒には、RUCK製アルコールフリー消毒タオル（製品番号2942801）を推奨します。



メンテナンスと清掃の前には、必ず器具のスイッチを切り、
コンセントを抜いてください！



メンテナンスには、定期的に器具を以下の住所にお送りくだ
さい：

HELLMUT RUCK GmbH
Daimlerstraße 23
D-75305 Neuenbürg

電話 +49 (0) 7082.944 20
ファックス +49 (0) 7082.944 22 22
kontakt@hellmut-ruck.de

6.2 フィルタの交換

フィルタの交換は、遅くともハンドピースの稼動30時間後に必要です。フィルタ交換のシンボルがディスプレイに表示され、フィルタ交換をしなければならないことを教えます。

選択してく
ださい：

 M1 = 今  M2 = あとで

「あとで」を選ぶと、器具はフィルタ交換がされるまで5時間ごとに同じ問いかけをします。

6.2.1 フィルタの交換方法



器具はフィルタ交換の催促をします。それでも、1週間に一度はフィルタがどれだけ一杯になっているか、チェックすることを推奨します。フィルタを交換するには、[i] ボタンを押して、情報メニューを出してください。ここで[+] または[-] ボタンを押して、メニュー項目「フィルタ交換」を表示します。



フィルタ交換
交換してください

[M1] 今 [M2] あとで

M1のボタンで交換を開始してください。



フィルタ
新しいフィルタを挿入しましたか？

[M1] はい [M2] キャンセル

ホース接続ピースを引いて、フィルタの入っている引き出しを開きます。ホース接続ピースが上に向いているよう、引き出しを押さえてください。一杯になっているフィルタをスリーブから引き出します。フィルタは、そのために用意されている栓で閉じてください。

新しいフィルタを、開口部をスリーブに当てるようにして入れてください。フィルタの引き出しを閉じます。



保存終了

[M1] ボタンを押してフィルタ交換終了を確認すると、また標準メニューに戻ります。



フィルタを空にしてまた使用することはできません。



人工爪（ネイルデザインなど）に器具を使用する場合には、削り取る量が多いために、フィルタ交換の時間が早まることを考慮してください。1週間に一度、フィルタの詰まり具合をチェックするのが、支障のない操作には欠かせません。人工爪での作業では、ご自分の目と呼吸器官を保護してください（マスクと保護メガネ）。



週に一度フィルタの入った引き出しを開けて、フィルタが正しく挿入されているか、そしてどのくらい一杯になっているか、チェックしてください。その際には、上記に説明したとおりに行ってください。必要であれば、フィルタを交換します。

6.2.2 新しいフィルタはどこで購入できるでしょうか？

新しいフィルターは、HELLMUT RUCK GmbH で製品番号110501でご注文ください。



専用のフィルタだけを使用してください。

6.3 モーターユニットの清掃

使用後は毎回、ハンドピースの内側を清掃し、スリーブを消毒してください。そのためにはハンドピースのスリーブを取り外してください。



清掃および消毒の薬剤に関しても、それに対する器具に関しても、メーカーの表示や指示に従ってください。

6.3.1 モーターユニットの簡単な清掃



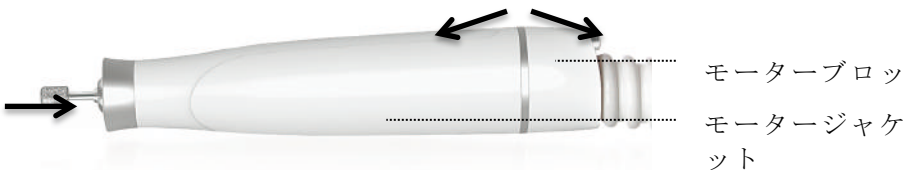
消毒スプレーは使用しないでください。水分が入り込み、損傷を招くことがあります。



適切な清掃と消毒には、RUCK製のアルコールフリー消毒タオル（製品番号2942801）を推奨します。

清掃の際には、ハンドピースを取り外しても大丈夫です。

ハンドルスリーブを内側から清掃するには、モータージャケットとモーターブロックを軽くねじると、これを外すことができます。



その際、モーターのプラグ接続が外れます。

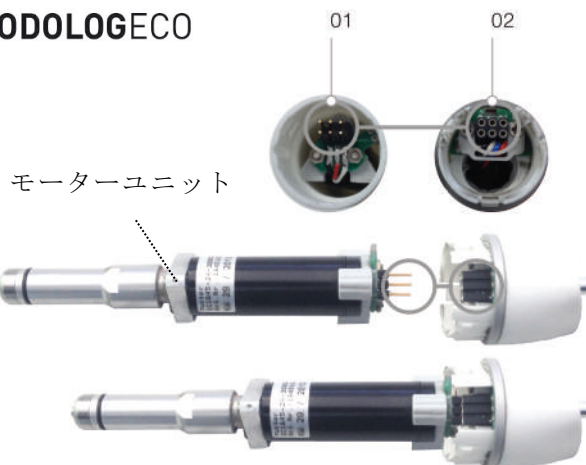
そして、添付のドリル用ピンなどを使って下に押し入れ、リリースチャックごとモーターを取り出します。

これでハンドルスリーブを内側から清掃することが可能となります。

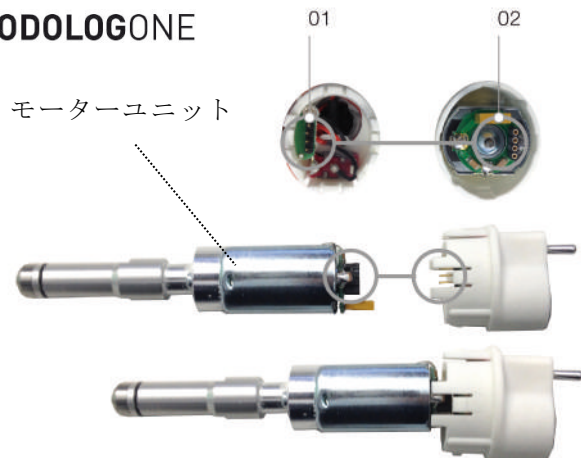
ハンドピースを再び組み立てる際には、モーターユニットをモータージャケットのガイドレールに合わせてください。モーターの接続を元通りにするには、コンタクトピン（01）が破損しないよう、慎重にプラグコネクタ（02）にあわせて入れ込みます。プラグコネクタが正しく接続されるよう、注意してください。

PODOLOGECO /// PODOLOGONE

PODOLOGECO



PODOLOGONE





ハンドピースは決して水やその他の液体に浸けないでください。感電の危険があります。



消毒スプレーは使用しないでください。水分が入り込み、電子部分に損傷をもたらすことがあります。



適切な清掃と消毒には、RUCK製のアルコールフリー消毒タオル（製品番号2942801）を推奨します。

6.4 制御装置の清掃と消毒

制御装置は、特殊プラスチッククリーナー（例えば RUCK製のプラスチッククリーナー、製品番号10335）と表面消毒剤で外側だけを消毒してください。



器具は決して水やその他の液体に浸けないでください。感電の危険があります。



消毒スプレーは使用しないでください。水分が入り込み、電子部分に損傷をもたらすことがあります。



適切な清掃と消毒には、RUCK製のアルコールフリー消毒タオル（製品番号2942801）を推奨します。

7. 付属品とスペアパーツ



注意以下にリストアップする付属品は、PODOLOG ECO / ONE
でしかお使いになれません。

その他の医療電気機器との併用は、医療電気機器のエミッシ
ョンの増加やイミュニティの減少を招くことがあります。

7.1 工具

DIN EN ISO 1797-1 に準じた、直径2,35 mm \varnothing の規格シリンダ軸の回
転工具（角質削り器/研磨機/ポリッシャー）だけを使用してください。
弊社のカatalogにある豊富な品ぞろいをご覧ください。

7.2 フィルタ

フィルタは、オリジナルのフィルタ（製品番号 110501、1パック 3
袋入り）だけを使用してください。

7.3 フットスイッチ

フットスイッチを使って、速度（回転数）を無断階に、かつ細やかに調整
することができます。ロータリースイッチによる設定が、予備選択最大と
して使われるので、フットスイッチによる調整は、設定されている最大回
転数内に限定されています。フットスイッチを放すと、モーターは自動的
に停止します。（製品場号 11045）

8. テクニカル・データ

PODLOG ECO	230 V バージョン	115 V バージョン
制御装置寸法 (幅/奥行/高さ) (mm)	250/235/120	250/235/120
重量 (g)	約 2800	約 2800
ハンドピース寸法 長さ (mm)	127	127
重量 (g)	約 110	約 110
電圧 制御ユニット	230 V、50 Hz 交流電 圧	115 V、60 Hz 交流電 圧
消費電力	最大 200 VA	最大 200 VA
マイクロモーター電圧	24 V	24 V
連続運転	40 W	40 W
アイドリング回転数 (r pm)	25000	25000
最大性能* での体積流 量	約 190 l/分	約 190 l/分
ヒューズ	T 1.25 A	T 2.5 A
以下の期間/時間終了後 要メンテナンス:	2年後または900稼働 時間終了後	2年後または900稼働時 間終了後

*堆積流量 (l/分) は、校正済み測定器でハンドピースの吸気口のところでじかに測定。

PODOLOGECO /// PODOLOGONE

PODOLOG ONE	230 V バージョン	115 V バージョン
制御装置寸法 (幅/奥行/高さ) (mm)	250/235/120	250/235/120
重量 (g)	約 3300	約 3300
ハンドピース寸法 長さ (mm)	122	122
重量 (g)	約 110	約 110
電圧 制御ユニット	230 V、50 Hz 交流電 圧	115 V、60 Hz 交流電 圧
消費電力	最大 350 VA	最大 350 VA
マイクロモーター電圧	24 V	24 V
連続運転	40 W	40 W
アイドリング回転数 (r pm)	25000	25000
最大性能* での体積流 量	約 155 l/分	約 155 l/分
ヒューズ	T 2.5 A	T 5 A
以下の期間/時間終了後 要メンテナンス：	1年後または500稼働 時間終了後	1年後または500稼働時 間終了後

*堆積流量（l/分）は、校正済み測定器でハンドピースの吸気口のところでじかに測定。

PODOLOG ECO / ONE とその他の機器との電磁相互作用については、知られていません。

8.1 環境条件

周囲温度	
操作中	+10° C ～ +40° C
運搬および保存中	-25 ° C（相対湿度チェックなしで） ～ +70 ° C（90 %までの相対湿度 において、結露なし）

湿度	15 % ～ 90 % （結露なし）
気圧	700 hPa （≈ 海拔3000） ～ 1060 hPa

9. 保証

HELLMUT RUCK GmbH (RUCK) はPODOLOG ECO / ONE に対し、2年間の保証をいたします。普通の消耗・磨耗（ことにベアリング、コネクタ、吸引ホース、チャック等の磨耗）は対象外とします。

保証期間は購入日（初めて商品をお買い上げになった日）から適用されます。購入日は、商品お買い上げの際のレシート（領収書）で確認させていただきます。保証請求には、器具保証書の提示が必要です。保証の範囲内でRUCK社は、ドイツ国内では、欠陥のある器具を無償で修理するか、またはRUCK社の選択で製品交換をいたします。

欠陥のある器具を、上記の書類と共に送料をお客様負担で送付していただくことが前提条件です。外国でのクレームに関しては、お近くの代理会社が担当いたします。不明な場合には、RUCKに製品を返送する前に、ご連絡ください。

故障の原因が不当なまたは誤った設置または扱い方、取扱説明書の指示の無視、外部からの損傷、または権限のない者による修理の結果や改造などによるものであることがわかった場合には、保証は無効となります。

保証は、当器具の修理および交換に限られます。それ以上の責任（ことに売上や収入の減損など）は含まれません。故障が保証の対象とならない、または保証期間が満期になっていることがわかった場合には、修理および検査にかかる費用は、お客様負担となります。

技術仕様は変更、逸脱することがあります。

10. 廃棄処分



環境汚染の危険！

器具を間違った方法で廃棄処分すると、環境汚染につながります。

>>> *PODOLOG ECO / ONE* の寿命が尽きたら、返送・回収システムに回してください！

送り先住所

HELLMUT RUCK GmbH
Daimlerstraße 23
D-75305 Neuenbürg

電話 +49 (0) 7082.944 20
ファックス +49 (0) 7082.944 22 22
kontakt@hellmut-ruck.de

Sicherheitsempfehlungen

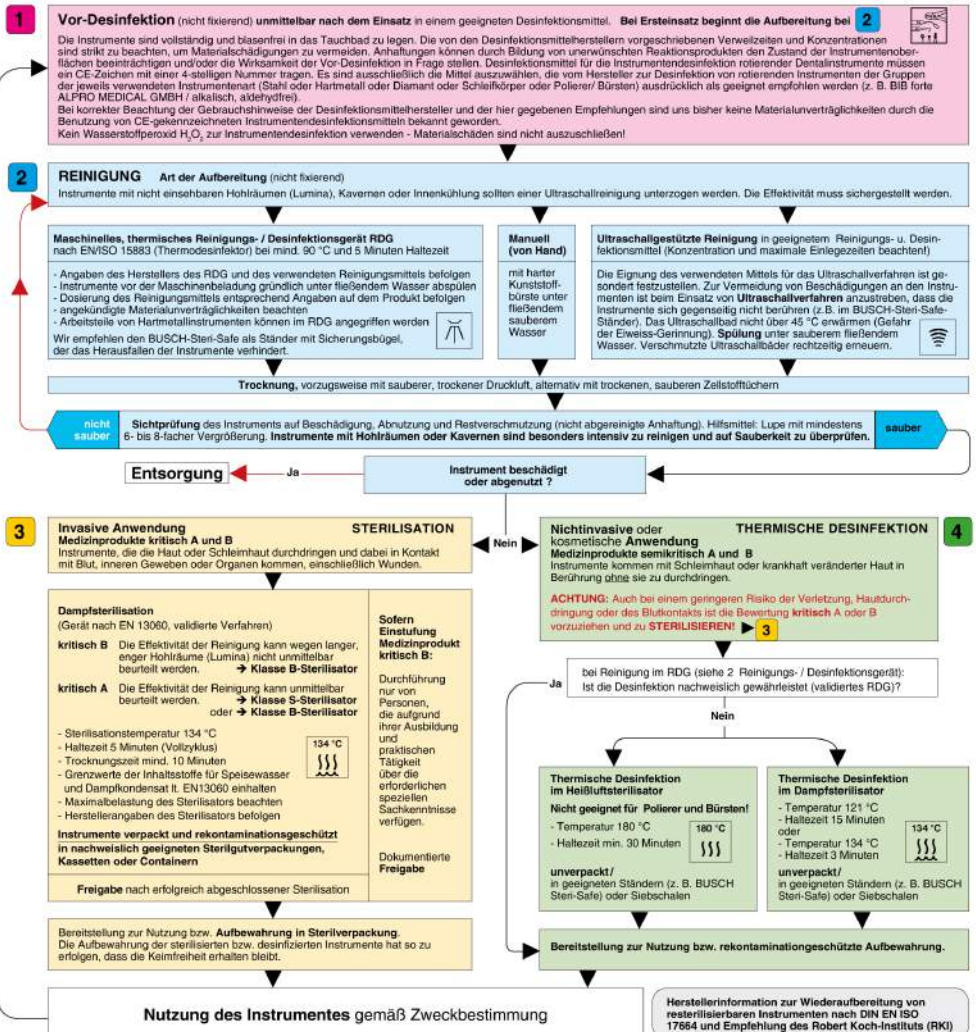
- Bis zum erstmaligen Einsatz sollte die Aufbewahrung rotierender Instrumente in der Originalverpackung bei Zimmertemperatur staub- und feuchtigkeitsgeschützt erfolgen.
- Zur eventuellen Rückverfolgung die Verpackung auch während der Nutzungsphase aufbewahren.
- Einwandfreie, gewartete und gereinigte Antriebe einsetzen.
- Instrumente so tief wie möglich einspannen.
- Instrumente vor dem Ansetzen an das Objekt auf Drehzahl bringen; dabei auf exakten Rundlauf achten.
- Maximal zulässige Umdrehungszahl beachten (auf jeder BUSCH-Packung angegeben).
- Verketten und Hebeln der Instrumente vermeiden.
- Je nach Anwendung Atem-/ Augenschutz und Absaugung benutzen.
- Andruckkraft 0,3 bis 2 N nicht überschreiten.
- Instrumente nur entsprechend ihrer Zweckbestimmung einsetzen.
- Möglichst die gesamte Arbeitsstellung nutzen, um punktuelle Überbelastung z. B. der Spitzen (Hitzeentwicklung) zu vermeiden.
- Zur Vermeidung unerwünschter Wärmeentwicklung ist für eine ausreichende Wasserversorgung zu sorgen.
- In der zahnärztlichen Praxis mind. 50 ml in der Minute.
- Bei FG-Instrumenten mit einer Gesamtlänge von mehr als 22 mm oder einem Kopfdurchmesser größer als 2 mm ist zusätzliche Kühlung erforderlich.
- Bei chirurgischen Instrumenten mit langem Schaft ist ggf. eine zusätzliche Kühlung erforderlich.
- Verborgene bzw. nicht rundlaufende Instrumente oder Instrumente mit beschädigten / abgenutzten Arbeitsstellen müssen aussortiert und entsorgt werden.

Hygieneempfehlungen

1 Vor-Desinfektion 2 Reinigung 3 Sterilisation 4 Thermische Desinfektion

Anwendungsbereich: Rotierende Stahl-, Hartmetall- und Diamantinstrumente, Polierer, Schließkörper und Bürsten zur Anwendung am Menschen. Die Instrumente werden im unsterilen Zustand ausgeliefert. Sie müssen vor dem Ersteininsatz und nach jeder Nutzung desinfiziert, gereinigt und ggf. sterilisiert werden.

Einschränkung der Wiederaufbereitung: Propylene Instrumente sind Einmalprodukte, die eine rückstandslose Reinigung nicht gewährleisten werden kann. Bei nicht rostischen Instrumenten sind Desinfektions- und Reinigungsmittel mit Korrosionsschutz zu verwenden. Nicht rostische Instrumente sind nicht für den Dampfsterilator geeignet. Die Produktlebensdauer wird von Verschleiß und Beschädigung durch den Gebrauch der Instrumente bestimmt – eine genaue Angabe über die Anzahl von Wiederaufbereitungen kann daher nicht gegeben werden. medCap und medCap-Träger müssen immer getrennt voneinander wiederaufbereitet werden.



BUCK[®]
FÜR FUSS UND PFLEGE